

土砂災害ハザードマップ

1: 上宮河内町・赤土町

がけ崩れ、土石流、地すべりなど、土砂災害のほとんどは長雨や大雨が引き金となって発生します。常陸太田市では土砂災害に対して市民の皆様がすばやく安全な場所に避難し、被害を最小限に抑えることを目的に「土砂災害ハザードマップ」を作成しました。土砂災害危険箇所、避難場所、災害に関する知識などを本ハザードマップを用いて確認して下さい。

お問い合わせ先:「常陸太田市役所 防災対策課」
〒313-8611 茨城県常陸太田市金井町3690番地
TEL:0294-72-3111(代)/FAX:0294-72-3002
URL:http://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/ E-mail:info@city.hitachiota.ibaraki.jp

わが家の防災メモ

家族で相談し、連絡先や避難場所などを書き込みましょう。

年	月	日	名前	生年月日	血液型	連絡先
わが家の避難場所						
家族の集合場所						
緊急連絡先						
メモ欄						

※災害時は電話がつながりづらい場合があるので、メールも有効な手段です。

避難情報伝達の流れ



住民の皆さん ▶ 避難行動

いざ!という時の連絡先

土砂災害の前兆があったら、または、土砂災害が起きたら、こちらまでお知らせください。

機関名	所在地	電話番号
常陸太田市役所	金井町3690	72-3111
常陸太田市役所 金砂郷支所	高村町137	76-2111
茨城県 常陸太田工事事務所	山下町4119	80-3380
太田警察署	木崎二町1727-7	73-0110
常陸太田市消防本部	山下町1883	73-0119

避難情報について

種類	避難準備情報	避難勧告	避難指示
発令時の状況	被害の発生する可能性が高い状況 お年寄りや体の不自由な方など、避難行動に時間を要する方が、避難を開始する段階です。	被害の発生する可能性が明らかに高まった状況 通常の避難行動ができる方が避難を開始しなければならない段階です。	被害の危険が急迫している状況
とるべき行動	・避難行動に時間を要する方は、避難所へ避難してください。 ・上記以外の方は、いつでも避難できるように、準備をしましょう。	お互いに助け合って、速やかに避難所に避難してください。	危険が迫っているので、直ちに避難所へ避難してください。

低 緊急の度合い 高

※避難準備情報、避難勧告の発令の主な目安は、以下のとおりです。
連続雨量が100mmを超えた時
連続雨量が100mmを超え、時間雨量が30mm以上の雨が予想される時

※避難情報が発令されなくても、身の回りの状況を見て、危険な状況の場合は、自主的に早めの避難を心がけて下さい。
※降雨が激しく、屋外への避難が困難な場合は、自宅二階などに待機して下さい。

危険な雨の降り方と強さの目安

激しい雨



1時間に30~50mm

バケツをひっくり返したような激しい雨。道路規制も行われ、避難の準備が必要です。

非常に激しい雨



1時間に50~80mm

滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。河川があふれる可能性がある激しい雨です。

猛烈な雨



1時間に80mm以上

滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。車や家屋等が水に浸かる可能性が高く、最悪な警戒が必要です。

避難時の注意点

風や雨が強くなってきたら、TVやラジオ、インターネットで情報を収集しましょう。



裏面の危険箇所や浸水箇所を確認し、安全なルートで避難しましょう。



1人で避難せず、隣近所と声を掛け合いながら避難しましょう。



非常持ち出し品と一緒にハザードマップを持って避難しましょう。

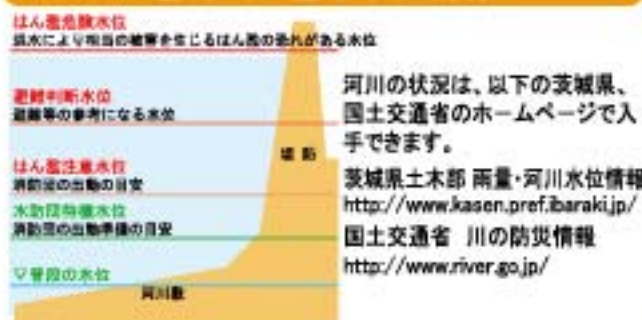
避難時の持ち物

避難時には次のようなものがあると便利です。これらは、土砂災害以外の災害時にも役立ちます。日頃から、準備・点検しておきましょう。



気象、災害等の情報収集

各河川の基準水位情報



河川名	観測所	水動危険水位	はん雲注意水位	避難中止水位	はん雲危険水位
久慈川	富岡	1.50	2.50	2.90	3.50
	新橋	2.70	3.70	6.00	6.40
黒川	橋本	2.00	3.00	3.00	3.10
山田川	常井橋	2.00	3.00	3.50	3.80
豊川	大方	2.19	2.66	2.88	3.83

土砂災害警戒情報



土砂災害の危険度は、以下の茨城県のホームページで入手できます。
茨城県土砂災害警戒情報
http://www.dosya.kasen.pref.ibaraki.jp/dosya/

土砂災害警戒情報は、大雨による土砂災害を防ぐために、
1 住民の皆さんの避難準備や自主避難の判断
2 市町村の避難勧告や避難指示等の発令を支援する情報です。

降雨の状況や今後の予測などから、茨城県と水戸地方気象台が連携して発表します。発表は市町村ごとに行われます。土砂災害警戒情報が発表されたときは非常に危険な状態です。

土砂災害の種類

地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちる現象ががけ崩れです。突発的に起こり、瞬時に崩れ落ちるので、逃げ遅れる人も多く、被害が大きくなります。谷や斜面に溜まった土や石、砂などが、大雨による水と一緒に一気に流れ出して発生します。破壊力が大きく、また流れる速度が速いため、大きな被害をもたらします。比較的緩やかな斜面において、地中の粘土層などのすべりやすい面が地下水などの影響で、ゆっくりと動き出す現象です。一気に広範囲で発生するため、住宅や道路、鉄道などに大きな被害を及ぼします。



土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域とは
●土砂災害警戒区域は、土砂災害のおそれがある区域で、住民の生命又は身体に危害の生じるおそれがある区域です。
●土砂災害特別警戒区域は、土砂災害警戒区域のうち、建築物に破損が生じ、住民の生命又は身体に著しい危険の生じるおそれがある区域です。

土砂災害の前兆現象

がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)



・がけから水が噴き出す。
・がけからの水が濁る。
・小石がバラバラと落ちて、がけから音がする。

土石流



・山鳴りや立ち木の裂ける音が聞こえる。
・石のぶつかり合う音が聞こえる。
・雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。
・川の水が急に濁ったり、流木が流れてくる。
・泥臭いにおいが漂う。

地すべり



・山腹や地面にひび割れができる。
・山腹や地面に段差ができる。
・沢や井戸の水が濁る。
・斜面や地面から水が噴き出す。
・建物や電柱、樹木が傾く。
・井戸や野池の水かさが急激に変わる。